

消防署

メンバー

持田梨貴

森崎達也

武田元気

高階陽希

青田章吾

課題

「公益大生と消防本部が共同で行う防火イベント」

高校生、大学生が消防イベントへの参加が少なく、防災に対しての意識が低い。それを解決するために、公益大生と消防本部が共同で行う防火イベントを考える。

現在行なっている防火イベント

- 消防フェスティバル
- 防火講話
- 救急講習
- 防火訓練
- 消火訓練

現在の問題点

- 大学生の参加者が少ない
- 消防訓練が毎回、内容が同じでマンネリ化している
- 参加者が年々減っている
- 毎回同じ内容では参加者の人たちが飽きてしまう

私達の提案するイベント

- ・公益大で行なっている公翔祭内で消防イベントを行う
- ・VR体験
- ・訓練映像を目線カメラで体験してもらう

狙い

- 大学生に来てもらう
- 普段消防イベントに来ない人に対してきてもらうきっかけにしてもらう
- VRを使用することで、学生に興味を持たせること
- 目線カメラは消防士のすごさを伝える

消防イベントに参加してもらうための工夫

- 公翔祭に来てもらった芸能人の方に参加してもらう。
- 学生用と地域住民用のポスターを作成

学生用ポスター

- 芸能人が消防イベントに参加することを記載
- 公務員志望の学生に対し、体験や講話が聴けることを記載
- その他の学生も楽しく体験できることを記載
- 体験ではタイム競争での景品がでることを記載

地域用のポスター

- 消防イベントに芸能人が参加することを記載
- 救急救命講習が受けられることを記載
- 小さな子供も楽しめる体験があることを記載
- 体験ではタイム競争での景品がでることを記載

公翔祭で行うイベント内容

- ・室内と屋外に分けてイベントを行う
- ・室内では講話やVR体験、目線カメラ体験などを行う。
- ・屋外では体験型でタイムなどを競って楽しめる形にする

屋外

- 消火体験(消火器の使い方)など
- 消防士の訓練体験
- はしご車体験
- 消防士の服の着衣体験

室内

- 消防士の体験談
- VR体験
- カメラ目線体験
- 救命講習(AED)など
- 防火講話

VR体験について

- VRを買う場合の値段

モバイル型: 1000から3000円程度、中には1万円ほどのものもある。

スタンドアローン型: 2万円前後

据え置き型: 3~4万円前後

据え置き型

- ・パソコンやゲーム機などに接続して使用するVRヘッドセットを「据え置き型」と呼んでいる

- ・メリット

操作性がとて高く、機能性が高い。専用のコントローラーが付属しているものも多く、その利用方法は動画視聴だけにとどまらない点が魅力的。

- ・デメリット

利用にはハイスペックなPCがなければならないため、VRゴーグル本体に加え周辺機器も購入が必要。高価なVRゴーグルが多く、周辺機器もあわせて必要な準備に費用がかかる。



モバイル型

- ・専用のVRゴーグルにスマホをセットするタイプは「モバイル型」と言われている。

- ・メリット

パソコンなどと配線で接続する必要がないため、扱いやすい。ほとんどの機種でiOSとAndroid端末に対応している。

- ・デメリット

据置型と比べると性能は劣ってしまう。



スタンドアローン型

- ・パソコン接続やスマホの装着などを必要としない、VRヘッドセット単体でVRを楽しむことができる独立型のゴーグル

- ・メリット

スタンドアローン型は「前後」「左右」「回転」だけではなく利用者の動きを細かく感知し、モバイル型よりもさらに自由度と性能が高い。

- ・デメリット

接続して電源をとっていないためにバッテリーが最大3時間程度しかもたないため、長時間の連続使用には適していない。



VRに対する自分たちの案

- 訓練映像を消防士目線でスマホで撮影しモバイル型で流す。
- 建物火災を想定したゲームを作り、その消火体験を据え置き型で実施する。

まとめ

- ・消防士の魅力を伝えることが消防士を増やすことに繋がると考える
- ・公翔祭で開催することで大学生をはじめ地域の人々の防災意識向上に繋がると考える
- ・いろいろな体験を通して消防士のすごさを理解してもらうことができると考える

参考文献

- 酒田地区広域行政組合消防本部(消防・救急):酒田市公式 ...
www.city.sakata.lg.jp/bousai/syobokyukyu/index.html 1月25日参照
- イベント情報 | 消防庁消防大学校 消防研究センター - fdma.go.jp
nrifd.fdma.go.jp/event/index.html 1月26日参照
- 消防局イベント情報 - 千葉市
<https://www.city.chiba.jp/shobo/somu/somu/event.html> 1月26日参照